続・ふるさとこぼれ話

芳賀高校の閉校に思う①

第36回

祖母井赤坂の県道北側にそびえる「栃木県立芳賀高等学校」が、この3月に閉校となる。特に今年度の卒業生にとっては、在校生に見送られることもなく、自分たちで行う卒業式と閉校という節目の年の卒業であり、思い出多い式となるだろう。

芳賀町にとっても、巣立っていった卒業生にとっても「芳賀高等学校」がなくなるのは大変残念であるが、県の方針ではいたしかたのないことである。

昭和35年、芳賀町が誕生して6年目。栃木県立真岡農業高等学校芳賀分校が町立水橋中学校への併置校のため、PTAから独自校舎建設の強いはたらきかけがあった。町は建設に同意し、建設には町の所有地をあてることになった。

敷地は、旧祖母井町の隔離病舎敷地跡とその北側に接続する先の大戦中に食糧増産のため開墾された農地で、これは当時の町農業委員会が所有していた農地であり、これを合わせてあてられた。町でもこの土地を教育に有効利用することは大変望ましいことであった。

真岡農業高等学校分校の独立校舎建設により、昭和36年頃から高度経済成長に合わせるかのように、戦後ベビーブームの子どもたちが、中学から高校へと多く進学するようになった。

このような状況の中「県立高校を芳賀町へ」の気運が高まり、町、町議会、町民の大きなもう一つの目標が見えてきた。

問生涯学習課総合情報館推進係
【☎028(677)2525】

編集後記

□今年は暖冬です。年度末が近づいて、写真撮影を考えると卒業式前に桜が散ってしまうのでは、と心配です。

□暖冬と聞いて自分はどのようにして天候の変化を知るのだろうか？と気になりました。昔の人は毎日水に触れたり太陽や生き物を通じて情報を得ていたらしい。ところが自分や子どもたちは、朝のニュースや新聞などマスメディアから情報を得ています。情報氾濫と言われていますが自分の身体の情報入力量は案外少ないのかも、と考えると怖い話です。

■先ずは夜空を見ることにしました。この季節は星がきれいです。

（まんじゅう）

■編集　芳賀町広報広聴委員会
☎028(677)6032　✉kouhou@town.haga.tochigi.jp
■発行　芳賀町企画課
栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020番地
■芳賀町ホームページアドレス
http://www.town.haga.tochigi.jp
■苦情専用フリーダイヤル
0120(753)898
芳賀町の携帯サイトはコチラから➡

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています
PRINTED WITH SOY INK
環境保護印刷
この印刷物は、E3PAのゴールド基準に適合した地球環境に優しい印刷方法で作成されています
E3PA：環境保護印刷推進協議会
http://www.e3pa.com

野鳥はともだち72

シロハラ

スズメ目ヒタキ科ツグミ亜科

Turdus pallidus
(淡い色のツグミ類)
(L=24cm)

大きさはツグミと同じで、習性はややおとなしく、暗い林の中を好む。シベリア地方で繁殖し、日本には10月の末に飛来する。はじめは山地に集団でいるが、徐々に単独で人里に下り越冬する。家の庭木で、ミミズや草の実などを拾ってついばんでいるのがよく見られるが、ツグミのように木の実（カキなど）を表に出ては食べない。

体全体は灰色で上面は茶褐色、下面は淡褐色で外側尾羽の先に白斑がある。雄は頭部が黒っぽく、雌は頬と喉に白線がある。

一度聴けば覚えられるような特徴的な声でツィーと鳴く。雄はキョキョキョと渡る前のほんの少しの間に美しい声で鳴く。

ヒタキ科の鳥は容姿がきれいでさえずりが美しいものが多く、特に夏鳥のオオルリ（青い鳥）キビタキ（黄色い鳥）クロツグミ（黒い鳥）が挙げられる。ツグミの名前は口をつぐむ動作をすることに由来する。